

(別紙)

令和5年度デジタル技術を活用した障害福祉サービス事業所等支援事業 事業報告書

自治体名 東京都

【基本情報】

フリガナ	カブシキシャ トモノエ
法人名	株式会社トモノエ
フリガナ	ハツダシメントモノエカ ハキョウシツ
事業所名	発達支援トモノエが原教室
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
放課後等デイサービス	
職員数（常勤換算数）	【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】
6.2人	
ICT機器等導入完了日	令和5年10月20日

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
請求業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
勤怠管理	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
シフト表作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
給与業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	①作業の迅速化	FMVD5405JP ESPRIMO D7012 273V7QDAB/11	1	富士通
①パソコン	①作業の迅速化	A6BCHVFALB75 db B65HV	3	Dynabook

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	6人	440 件	5,280 件	20 分	1,760 時間	#VALUE!	
③請求業務	6人	440 件	5,280 件	15 分	1,320 時間	#VALUE!	
⑦その他	6人	440 件	5,280 件	20 分	1,760 時間	#VALUE!	
⑤シフト表作成	2人	15 件	180 件	15 分	45 時間	23 時間	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
		1,335 件	16,020 件	70 分	4,885 時間	#VALUE!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

1日利用者10名、週5日稼働でひと月の概算

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

HAGシステムを導入しており、支援記録や個別支援計画書、請求に関わるデータ管理などの情報が一元化管理できているが、新入社員5名の入社が確定しており、

HUGシステムに使用に必要な端末機が不足する状況である。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	10人	440 件	5,280 件	13 分	1,100 時間	110 時間	
③請求業務	10人	440 件	5,280 件	6 分	554 時間	55 時間	
⑦その他	10人	440 件	5,280 件	10 分	880 時間	88 時間	
⑤シフト表作成	10人	15 件	180 件	10 分	30 時間	3 時間	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
		1,335 件	16,020 件	39 分	2,564 時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

1日利用者10名、週5日稼働でひと月の概算

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

HAGシステムを導入しており、支援記録や個別支援計画書、請求に関わるデータ管理などの情報が一元化管理できているが、新入社員5名の入社が確定しており、

HUGシステムに使用に必要な端末機が充足した状況での計算。

年間業務時間数削減率 (%)

47.5%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
連絡帳	440 ページ	5,280 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	440 ページ	5,280 ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
連絡帳	275 ページ	3,300 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	275 ページ	3,300 ページ

年間作成文書量削減率 (%)

37.5%

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

導入前は6人で行っていた作業を10人に分担することが出来たため、効率よく分業し、残業が軽減された。
見積もりなどをとるなどの工程が大変で時間がかかってしまった。
PCは導入業者の販売したいものベースなので、どのスペックが良いかの確認にも時間がかかりました。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果	
<input checked="" type="checkbox"/>	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/>	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/>	3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
<input checked="" type="checkbox"/>	4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input type="checkbox"/>	5 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/>	6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

--

ソフトウェア導入による効果	
<input type="checkbox"/>	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/>	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/>	3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input type="checkbox"/>	4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/>	5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/>	6 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/>	7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

--

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

導入前は6人で行っていた作業を10人に分担することが出来たため、効率よく分業し、残業が軽減された。
事務時間が減り支援計画に時間を費やすことができた。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

支援計画、活動計画、環境整備（清掃）、MTG時間の確保

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	有
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※1）	有
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	無

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

清掃の時間を以前より確保することができ、職員も意識するようになった。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

支援計画書や活動計画書を作成するにあたり、職員間でのMTG時間が確保され、いままでは活動のアイデアが広がった。